



誠・力・光

令和5年9月 8日

練馬区立北町中学校

学校だより 9月号

この夏のエネルギーを2学期へ

校長 中嶋 雅彦

流れる汗を手拭いで拭きながら男体山を見上げました。いろは坂を進み、標高約1300mにある中禅寺湖から眺める男体山はいつも自然の神秘と歴史を考えさせられます。今年の夏は、避暑地でも暑さを感じるほどの猛暑となりました。本校では、42日間の夏休み、熱中症に気をつけながら、部活動、補習教室、イングリッシュキャンプ、三者面談、小学生の補習を手助けするリトルティーチャーなど数多くの活動を行ってきました。1学期中にできなかったことをこの機会を使い、子供たちの成長へとつなげてきました。

2学期始業式の後、何名かの3年生にこの夏休みはどうだったと聞いたところ、「目標は達成できました。」「目標を達成できたものもあるけれど、うまくできなかったものもありました。」などの答えが返ってきました。アンケート調査では本校の3年生は、夏休みに平均で2～3校の高校見学を行っています。強い日差しの中で、そのエネルギーを自らの力と変え活動したことがうかがえます。目標への到達度がどのようなものであっても、変えられない過去に思いをはせることなく、これからの夢に向かい行動へとつなげてほしいと願っています。

令和5年度学校経営の理念に「常に社会における人との関わりを大切にし、人を思いやりながら、自らの幸せを見つけるために必要な学ぶ力を身に付けさせるべく、時代の要請や変化とともに教育内容や方法を改善しながら教育活動を計画し、実践していく。」というものがあります。学校、学年、学級とともに暮らす友達や教職員が言葉を掛け合う中で、お互いに学びの大切さを味わい、人を思いやる大切さを知っていく教育を今学期も実践していきます。各学年で必要とする人としての力をこの時期に充実させ、それを子供たちが実感する授業や活動を数多く作っていきます。

また、目標が大きくなればなるほど、悩みも大きくなります。誰にでも悩みや不安はありません。子どもたちが、悩んでいるとき子どもの周りにはいる教職員、保護者、地域の皆さんがその話し相手になり、解決へと導く手だてになっていきたいと考えています。悩み多き若者とともに、学校が保護者や地域の皆様の理解を得て、その力を子どもたちのために注いでいきます。この夏の暑さを、これからのエネルギーに変えて。